

「一人の時間」をつくり自立心を育てよう！

高等部卒業後“放課後等デイサービス”は利用できない！ 親亡き後は必ずやってくる！

高等部入学後、作業学習の時間にはバリバリ働くことができ、マラソンも得意で体力もついてきた。小、中学部時代と比べると一人でできることも増えています。でも、放課後、学校玄関を出てすぐ「ただいま～」と放課後等デイサービスの送迎車に乗り込み「何して遊ぶ～？」と友だちと楽しそうに話しています。休業中や土曜日にも利用し「小さい子と仲良く遊んでいます！ちゃんとお昼寝もしてます！」と話してくれたりもします。保護者の方は「留守番させるのは心配だから・・・」と。

多くの生徒が“家では家族と”“放課後や休業中は放課後等デイサービスで”と、常に大人と一緒に当たり前になっています。“親と一緒に寝ています！”という高等部3年生もいました。こうした生徒達は、気持ちが幼いままのことが多いです。一般企業やA型への就職を希望し実習しても、就職にはなかなか届きません。なぜなら、社会人としての基本的な自立心や独立心、仕事への責任感が育っていないことがすぐに分かってしまうからなんです。B型でも共通して求められる部分です。

(A型：就労継続支援A型事業所、B型：就労継続支援B型事業所)



「支えられる」から「支える」側へ！

常に大人がそばにいる環境では“大人の助けを待ち”“失敗する前から軌道修正”されるのが当たり前の生活になっています。しかし、就職後は「助けてくれるのが当然！」ではありません。会社やA型では“仕事を任せ”“一人でやる”のです(障害者ではなく戦力、自分が主役からお客様が主役へ)。

一人でがんばるには自立心や独立心が必要で、これは大人がいない状況で“考え、行動し、失敗を修正する”経験を積み重ねていくことでしか育ちません。ここで注意しなければいけないのは、一人にしておけばOKではないという点です。自分勝手な時間を過ごして、家族に迷惑をかけているのではダメです。散らかしっぱなしにしたり、注意しても聞かずにやり続けたり・・・等の困った行動が見られたら、早期に行動を修正しないと“大人を振り回す人”になってしまいます。

高等部卒業後は「放課後等デイサービス」は利用できません。親なき後は必ずやってきます。「自分で考えて判断して行動する」「試行錯誤する(失敗する)」「一人の時間を楽しんで過ごす」等の経験を計画的に積ませることも進路に向けた大切な取り組みです。

自由と責任の実感が育てる!

自分で考え動く経験を積む

トライ&エラーの経験を積む

一人で過ごす時間を増やす



質問や感想をお待ちしております。

記入の上、担任に提出してください(担任 ⇒ 左川)